

佐藤誠司
Seishi Sato

大 学 生 の た め の
英 語 構 文 ・ 文 法
完 全 理 解

ハズレア

南雲堂

英文の**太字**はポイントとなる文法事項を、
点線部分はその他の重要表現を示している。

は し が き

「丸暗記」という作業は決して楽ではありませんが、英語学習全般にわたり避けて通ることのできない過程でもあります。typical sentencesを暗記しておくことは非常に能率的な学習方法と言えます。たとえば、本書に収録された次のような例文を、皆さんも必ず一度はどこかで見た覚えがあるでしょう。(例文の前の番号は本書中の例文No. です。)

- 71. I am sorry to have kept you waiting so long.
- 121. Can you make yourself understood in English?
- 272. There is no rule but has some exceptions.
- 343. I like him all the better for his faults.
- 365. Don't speak ill of others behind their backs.

次の和文を英訳できますか？

- 56. 適度の運動をするのは健康によい。
- 72. 彼が話すのを聞けば、君は彼を外国人と間違うだろう。
- 107. 彼はその問題とは関係ない。

たとえば72. では、もちろんifで文を始めることもできますが、To hear～という書き出し(仮定を表す副詞用法の不定詞)が頭に浮かぶのがベストです。「彼女は彼のよい妻になるだろう(21.)」ではbecomeでなくmakeが、

「彼は決してうそをつくような人ではない (454.)」では never でなく last が、頭に浮かんでほしいのです。そうした条件反射的な記憶が英語学習には必要なのだと割り切ってください。なるべく1行で収まる程度の短い文を中心とし効率よく学習できるようにしました。

最後に、本書の編集にご尽力いただいた南雲堂編集部の青木泰祐氏に改めて感謝の意を表します。

著 者

目 次

1. 動詞にみる頻出構文	6
2. 不定詞にみる頻出構文	18
3. 分詞にみる頻出構文	30
4. 動名詞にみる頻出構文	38
5. 接続詞を使った表現	44
6. 時制を間違えるな	56
7. 前置詞を使った表現	58
8. 関係詞の必須構文	66
9. 疑問詞にみる頻出構文	74
10. 比較表現にみる頻出構文	80
11. 代名詞を使った便利な表現	90
12. Itを含む構文	94
13. 名詞・冠詞をマスターしよう	98
14. 助動詞の使い方講座	104
15. 否定表現	112
16. 形容詞・副詞の使い方講座	116
17. 態の頻出構文	120
18. 仮定法で卒業	122
練習問題	129

1. 動詞にみる頻出構文

1. This book is selling well these days.
2. Any watch will do so long as it is cheap.
3. Honesty will pay in the long run.
4. The snow lay one and a half meters deep.
5. It is quality, not quantity that counts.

☆

☆

☆

6. He looks old for his age.
7. The story may sound strange, but it is true.
8. He remained single all his life.

ポイント

1. sell (自動詞) は「売れる」の意味。[類例] This knife cuts well. (このナイフはよく切れる) 2. do (自動詞) は「間に合う」の意味。[例] Either dictionary will do. (どちらの辞書でもかまいません) 3. pay (自動詞) は「割に合う」の意味。 4. lie (横になる, ある) は自動詞で, lie-lay-lain と活用する。lay(横にする, 置く)は他動詞で, lay-laid-laid と活用する。 5. count (自動詞) は「大切である」の意味。count for much [nothing] は

1. この本は最近よく売れている。
2. 安くさえあればどんな時計でもかまいません。
3. 正直は結局割に合うものだ。
4. 雪が1.5メートル積もっていた。
5. 大切なのは量ではなく質だ。

☆ ☆ ☆

6. 彼は年のわりに老けて見える。
7. その話は変に聞こえるかもしれないが、本当だ。
8. 彼は一生独身のままだった。



「価値がある [ない]」。 6. look を SVC の文型で使うと、「～に見える (appear, seem)」の意味になる。 7. sound (動詞) は「～に聞こえる」の意味。Strange as it may sound, ~ (妙に聞こえるかもしれないが～) は慣用表現。(→191.参照) 8. remain はふつう SVC の文型で「～のままである」の意味になる。

9. The elevator seems to be out of order.
10. His latest work proved to be a great success.
11. He turned out to be nothing but a liar.
- ☆ ☆ ☆
12. My sister married him in spite of our objections.
13. We discussed the problem far into the night.
14. The wrestler weighs over 200 kilograms.
15. Where do you attend high school?
16. It does not become you to say such a thing.

ポイント

9. S seem(s) (to be) ~ = Sは~のように思われる, ~らしい = It seems that S+V.したがって, この文はIt seems that the elevator is out of order.と書き換えられる。(→370.参照) 10. proveは「~とわかる」の意味。直後のto beは省略できる。 11. turn outはproveと同じ意味。 12. marry(~と結婚する)は他動詞だから前置詞(withなど)は不要。My sister was [got] married to him. (姉は彼と結婚した)のmarried(形容詞)と混

9. そのエレベーターは故障しているようだ。
10. 彼の最新作は大ヒットした。
11. 彼はうそつきにすぎないことがわかった。

☆

☆

☆

12. 姉は我々の反対にもかかわらず彼と結婚した。
13. 我々は夜ふけまでその問題について議論した。
14. そのレスラーは200キロ以上体重がある。
15. 君はどこの高校に通っていますか。
16. そんなことを言うなんて君らしくない。



同しないこと。13. discuss (～を議論する) も他動詞だから前置詞 (about など) は不要。14. weigh は SVOの文型で「～の重さがある」の意味で用いられる。15. attend (～に通う, 出席する) も他動詞だから前置詞 (to など) は不要。16. becomeをSVOの文型で使うと、「～に似合う」の意味になる。
[例] This tie becomes you. (このネクタイは君に似合うよ)

17. A change of air will do you a lot of good.
18. Computers save us a lot of time and trouble.
19. I envy you your luck.
20. I owe him as much as 300,000 yen.
21. She will make him a good wife.
22. Can you spare me a few minutes?

23. He managed to make both ends meet.
24. Please drop in when you happen to be in the neighborhood.

ポイント

17. do～good＝～に利益を与える。good(利益), harm(害), damage(損害), favor(好意)などと結びつく do は「与える」の意味。 18. save は SVOO の文型で「～から～を省く」の意味。 19. envy＋人＋物で「～の～をうらやましく思う」の意味。 20. owe＋人＋金額で「～に～の借りがある」の意味。 cf. I owe my success to you. (私が成功したのは君のおかげだ) (→380参照) 21. make を SVOO の文型で使う形。「～になる」の make はこの例文で

17. 転地療養は大いに君のためになるだろう。
18. コンピューターは我々から多くの時間と手間を省いてくれる。
19. 君の幸運がうらやましい。
20. 私は彼に30万円も借りている。
21. 彼女は彼のいい奥さんになるだろう。
22. 2、3分時間をさいていただけますか。

23. 彼はどうにか赤字を出さずにすんだ。
24. 近くへおいでのときはお立ち寄りください。

もつぱら出てくる。22. spare には spare time (余暇) のような使い方もあるが、この文ではSVOOの第4文型を作る。24. happen [chance] + to不定詞は「たまたま～する」の意味。It happens[chances] that S+V. という形もある。(→371.参照)

25. He never fails to keep his promises.
26. How did you come to know her?
27. He has learned to be patient.

☆

☆

☆

28. I think his opinion (to be) of great importance.
29. I found the rumor (to be) true to a certain extent.
30. I expect him to get over the shock of his failure.
31. I won't allow my daughter to go abroad to study.
32. They forced me to sing a song.
33. Poverty sometimes drives people to commit crimes.

ポイント

25. never fail to doは「必ず～する」というイディオム。副詞句のwithout fail (必ず) も重要。cf. I failed to meet their expectations. (私は彼らの期待に応えられなかった) <fail to=cannot> 26.27. come [learn] + to不定詞は「～するようになる」の意味。become + to 不定詞という形はない。28. think+O+(to be) C=OがCであると思う 29. find+O+(to be) C=OがCであるとわかる 30. expect+O+to不定詞=Oが～す

25. 彼は必ず約束を守る。
26. 君はどうして彼女と知り合いになったんだい。
27. 彼は辛抱強くなった。

☆ ☆ ☆

28. 彼の意見は大変重要だと思います。
29. そのうわさはある程度まで本当だとわかった。
30. 彼が失敗のショックから立ち直ることを期待している。
31. 私は娘が留学するのを許すつもりはない。
32. 彼らは私にむりやり歌を歌わせた。
33. 貧困のために人々は時に犯罪を犯すことがある。

ることを期待する。この文は I expect that he will get over~, と表せる。 31. allow + O + to 不定詞 = O が ~ することを許す 32. force [oblige, compel] + O + to 不定詞 = O にむりやり ~ させる 33. drive + O + to 不定詞 = O を ~ に駆り立てる cf. Anger drove him to violence. (怒りで彼は暴力をふるった)

34. What caused him to change his mind?
35. I'll get my son to go instead of going myself.

☆

☆

☆

36. This medicine will make you feel better.
37. Illness prevented me from attending the party.
38. His pride didn't allow him to ask for help.
39. Television enables us to learn about foreign manners and customs.
40. A careful observation will show you the difference.

☆

☆

☆

ポイント

34. cause+O+to 不定詞=O が~する原因となる 35. get+O+to 不定詞=Oに~させる, してもらう(=have+O+原形) 36. make+O+原形=Oに~させる。なお, make は「強制」, let は「許可」のニュアンスがある。[例] I let him go home. (私は彼を家へ帰した) 37. prevent [keep]+O+from ~ing=Oが~するのを妨げる。この文は典型的な無生物主語の構文なので、「病気のために私は…」と主語 (Illness) を副詞的に訳すのがセオリー。 38. 日